

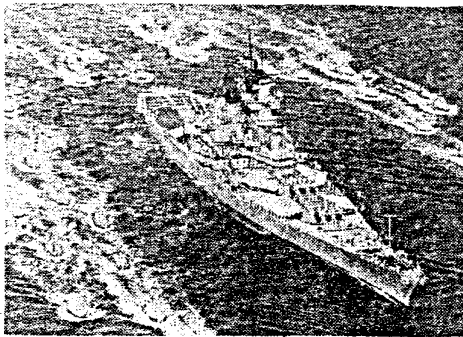
月刊反トマホーク通信 No 11

86.9.15

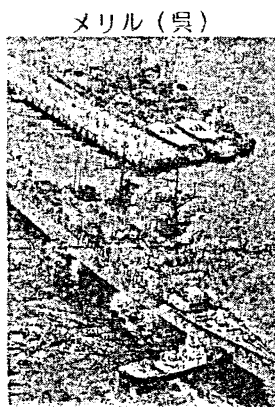
東京都渋谷区渋谷2-5-9 パル青山502 トマ喰い虫社 ☎03(498)6095

トマホーク搭載艦同時入港が

残した「発端」



ニュージャージー（佐世保）



メリル（呉）



ロングビーチ（横須賀）

「テレビのニュースを見ていて、まるであの戦争の最中に逆もどりしたように錯覚してしまいました」東京での毎日デモのある戦争体験世代の婦人の発言です。たしかに。この通信の最終仕上げをしている今、ニュージャージーは北海道西岸の日本海にいます。「日本海演習」が間もなく始まること。この演習が大西洋で行われているNATO諸国の大演習「ノーザンウェディング86」と連動した「世界同時多発」演習の一環であること。そして日本の自衛隊が時期をほぼおなじくして、空母「レインジャー」の機動部隊との合同演習に入ることを一三日の「朝日新聞」は報じています。

八月二十四日、トマホーク搭載艦の三隻同時分散入港。この暗く重い「既成事実」の置き土産を残して夏は去りました。

しかし、この夏の置き土産、紐を解いてなにかをよくよく見てみれば、いくつもの「希望」の芽が「決して負け惜しみなどでなく」そこかしこに顔をみせている。そんな気がします。

それらをしっかりと見付けだし、育てること。その出発点にわたしたちは立っている。八六年夏、何が起り、何が始まったのか…

「編集部 田巻」

トマホークの配備を許すな！全国運動

●維持会員（月間会費）

団体 1口 2000円
個人 1口 1000円

●参加会員（月間会費）

団体 1口 1000円
個人 1口 500円

●通信会員

年間2000円

—あなたも仲間—to

八月二十四日朝、ニュージャーシーを迎えたのは三十八隻の抗議船、三隻の歓迎の船として警備船が約三十隻。佐世保で編出されたといわれる海上抗議行動は、N-J乗組員にも強い印象を与えたようである。(関連記事一〇ページ) 先頭の船にはオーストラリアから来日中のジョー・ヘイター(PND:核廃絶のための人々のメンバー)が乗り、兵士たちにアピールした。

陸上では一核艦船寄港阻止現地闘争本部主催の集会に九五〇〇人が参加。被爆者も壇上に上がり抗議の声を上げた。二十五日からは一反ニュージャーシー週間(主催は非核平和実行委員会)。パネル展示、吉四六(ごっちょむ)劇団の公演、コンサート、ピー

っても タオルを投げる ってはならない

(ヨコスカ定例デモニュース No112)



スポーツなどで市民にアピールした。京都トマ連の吉田満智子さんの市役所まえでの座り込み(二十五日から)は市民の静かな支持に包まれた。そつと清涼飲料のビンを差入れていく婦人も。吉田さんとジョーさんの行動は現地の新聞でも大きくとりあげられた。市長あての抗議ハガキ署名、街頭での兵士への語りかけ、市長への申入れと首都圏から駆けつけた梅林さんも加わりめいっぱい動きまわった。市役所では丁度表敬訪問に来ていたN-Jの将校団に目のまえて抗議の声を浴びせるという幸運な出来事もあった。

入港前には一核を積んでいると確信」と市民にビラまでまいた市長も九月一日には外務省に一核疑惑を質す一内容の申入れを行なった。一本気かどうかは疑わしいけれども」と佐世保軍問研の佐々木竹一さんは厳しい目を

向ける。しかし「市民世論を意識してのこては間違いない。これからですよ」と新たな闘志を燃やす。

呉

メル入港の朝、一トマホークの配備を許すな呉市民の会」などの五十人が基地ゲート前で抗議行動。乗組員むけの英文ビラには「ヒロシマを訪ねてはどうですか?」ここから汽車でたった四十分です」この日広島原爆慰霊塔前では「ストップアザ戦争への道!ひろしま講座」(原発はごめんだヒロシマ市民の会)などの子供つれを含めた二十人が座り込み。被爆県広島への核搭載艦の入港に抗議した。

翌二十五日から二十九日にかけてこれらのグループは呉市、広島市、広島県に対する申入れを精力的に行なった。自治体の反応はあしなべて鈍い。広島市長は二十七日、外務省に「非核三原則の厳守」を口頭で申入れたが、市民グループへの回答では一核持込みはないとの政府の表明を信ずるものである」と述べた。呉市当局はそもそも「メル」がどんな艦なのかすら全く知らなかった。「自治体への持続的な働きが大事だとつくづく痛感した」と「呉市民の会」の湯浅一郎さん。

だから、まちが 私たちの側から なんてことがあ

サセボ・クレ・ヨコスカ・トウキョウ

それぞれの「8.24」

取材・構成：編集部



横須賀



たしかに「広島に核艦船」の既成事実を重く。でも、いやだからこそ、と湯浅さんは続ける。「メル」を目の前にして、非核のために自治体を動かすということが言葉だけでなく、実感としてとらえられるようになった。だから、全てが今始まったと言いたい。八月中旬に行なった県下全自治体へのアンケート調査では一非核三原則は守られているとこたえたのはわずか。六つの市町村は「核持込みがあれば具体的行動をとる」と答えている。(メルにたいしては行動はなかった)この調査のフォローをしっかりとりたいとのこと。「それから、今度の事態で周囲から自分達も動きたいという人達が出てきた。これが嬉しい」

八月九日から毎週の「ウィークエンドピースキャンプ」は新しいスタイルの抗議行動。毎回三十人程が集り夜を徹して語り明かした。二十二日にはロングビーチの入港あり!と判断して「非核市民宣言運動ヨコスカ」は市長への緊急の申入れ。二十四日の抗議集会には首都圏、神奈川を含めて五百人が参加。カラフルな横断幕をのびのびと広げて基地への抗議と市民への訴え。あまりにも急な入港だったため「いわくつきの艦船」に対していつもやってきた船をチャーターしての海上抗議行動は出来なかった。しかし、手漕ぎのゴムボートを繰りだした。二十五日から九月二日にかけては毎日デモ。

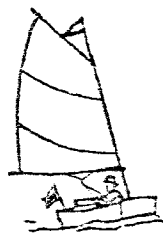
なんといっても最大の成果は市長の外務省への要請文の画期的な変化だ。言葉にこそ出さないが、これまで運動が言ってきた「非核証明の要求」を市長が口にしたのだ。

基地容認の市長にここまで踏まされたのは間違いない。集会参加者の頭数では計れない「世論」の存在。そこに一既成事実の向こうに見える希望」が、とヨコスカ定例デモニュースNo.111は言う。

「車の根柢名」の人々はリーフレットの全戸配布をやりきろうと決めた。

全市議会議員へのアンケート調査、平和船団作りのための基金運動、ハイテクを使っての基地監視、非核コードの対市提案など次なる手をあれやこれやと考えながら、ヨコスカは依然意気盛んだ。

一方、「神奈川民衆会議」「上瀬谷基地はいらないウドの会」など神奈川の諸グループや生活クラブ生協の主婦グループも県知事への申入れや、横須賀での行動を一緒に形作りながら、「核艦船拒否」の波を神奈川全体に広げようと意欲を新たにしている。



東京

「入港」のリアリティーを持ちつらい東京での活動は、スライド作り、抗議ハガキや通信、呼掛け文など印刷物の作製や発送などに随分とエネルギーを費やすことになる。しかしここは「首都」自分達自身も体を動かしてせい一杯抗議行動をやろうと八月二十三日から九月一日まで毎日デモをやった。若者で賑わう渋谷の町を毎夕歩いた。参加者は最少で一七人、最高で三十一人。大東京にしては寂しい数字だともうかもしれないけども、これが現実です。しかし、ここでもデモの人数にはあられもない心強いエピソードがあった。たとえば、抗議ハガキを学校で呼掛けたいと

最新号！



発行／トマ喰い虫社

「トマ喰い虫」5号——300円

●特集 海につながる、海でつながる
対談（梅林宏道＋ネルソン・フォスター）
／核実験の島（荒川俊児）／海洋汚染の行くえ（水口憲哉）／ニュージャージー寄港の意味（新倉裕史）●ずいひつ（三輪妙子）●私の主張（太田武二）●インタビュー（ピーター・バラカン）●トマ喰い虫訪問（木風舎）●地域から●三宅島レポート（寺澤晴男）●トマホーク・データ●基地と海洋戦路（前田哲男）

大量に注文してくれた川崎の高校の先生。スライドを文化祭で上映したいのですがと電話をくれた横浜の高校生……

東京二十三区はそれぞれに議会を持っていて、その多くは議会決議の形などで「非核」の立場を明らかにしている。働きかけを系統的にやろう。それから、東京の地の利をいかして外務省や国会への「ロビー活動」をもっと意識的にやろうと話合っている。

この他の地域でも小ささまざまな抗議の意思表示が行われたことと思います。「こんなことをやったよ」「こんなことも出来るゾ」という報告や提案、待ってます。トマ喰い虫社までお知らせ下さい。（編集部）

「核慣れ」の深まりか

「核のリアリティー」の再生か

梅林宏道（「全国運動」代表）

戦艦ニュージャージー入港に抗議するため、八月二十三日から五日間佐世保に行った。佐世保軍研の代表で社会党員の佐々木竹一さんのところに転がり込んでお世話になった。あと数週間で六九才だと言っていたが、佐々木さんの頭と日焼けした身体は一分の休みもなく超人的な活動を続けている。「命がけだ」という言葉に掛値も気負いもない。

「これだけやられてしまったら、今後の佐世保の運動をどうしたらよいかね」とあらたまった口調で佐々木さんが尋ねかけた。私もそのことを考えていた。

そんな佐々木さんが、八月二十六日の「朝日新聞」の高木正幸氏の「一時刻」の文章を読んで激怒した。わき上がった感情を押えることが出来ずに、朝日新聞の支局に、地区別に、鉄砲のような怒りの言葉を電話口で爆発させていた。

「佐世保闘争18年の落差」「対立重ねて市民離反」「核への不安結集でまず」という見出しのついていいるこの記事は、私にとってもあと味の悪いものであった。佐々木さんの怒りがよくわかった。いまこの記事のように、闘争の落込みを「ダメな革新勢力」「ダメな左翼」のせいにするのはたやすい。記者自身を安全圏において書くことのできるこのような記事では、いま私たちが最も必要としているものに届くことができない。

たとえば、「市内には以前にはみられたポスターや立て看板が、全くなかった」と書く。しかし、立てた看板が警察の物量作戦で次々と撤去されている現実に気付かない。あるいは、ポスター貼りや、たやすく現行犯逮捕を招き二泊三日の留置を招くという締付けの日常化に思いをはせない。佐世保市役所前で座り込みを続けたトマホーク阻止京都連絡会

の古田満智子さんの話だと、彼女を激励におとすれた女性のすぐあとに私服が現われて「お知合いあいですか」と訪問者を誰何していた。

「左翼」「革新」がこの期に及んでも、どうしようもない古い殻をこわすことができないことへのいらだちを共有するのにも私もやぶさかではない。しかし、日本海に向かう一四隻ものアメリカの軍艦が佐世保に集結するに至った途方もない現実を前にして、私たちはダメさ加減の指摘よりもその先を生出すことにこそ苦悩しているのだ。佐世保にも少なからぬそのような人々がいる。その人たちとともに明日へのヒントを創り出すことこそ、いま私たちに問われていることがらだ。

日本式成熟社会とでもいうのだろうか。細部まで管理され束縛された社会に、人々はただ駆立てられて物を消費するために動いているかのようである。普通の人間がこの管理の網の目を抜けでて自己表現し、やがてこの網の目を無力化することが出来るような、大衆運動の水路を私たちは見付けなければならぬ。（次ページへ）



戦艦ニュージャージー寄港阻止の運動を振り返って、私たちに問われている要点は、まさにここにあるような気がする。そのような水路を見つづけるのに、私たちはより深い霧の中にさまよい出たのか、それとも目印になる一条の光を見てとることができたのか。

●まず第一に、核艦船の入港をめぐる日米政府と日本民衆の綱引きはまだ終わっていないことを私たちは確認することができた。三年前からニュージャージーの最も望む入港先は東京湾の横浜港さもなくば横須賀基地であった。今回も横須賀への寄港を望み予定もしていたがそれを果たさず佐世保に異例に長期間滞在することになった。

●しかし、東京湾に入港出来なかった事実よりも、もっと私たちに大切なものは、この事態の推移のなかで民衆運動が自治体に影響を与えることができ、それが国家権力の勝手なふるまいを抑止しようという手掛りをつかんだことであろう。今回、神奈川では日本キリスト教団神奈川教区が、教区としてニュージャージー寄港反対を知事に申入れるという、かつてなかったことが行われたが（七月二一日）、その際知事は「神奈川は反対の声が強いのので今回は入港をみあわせているようだが、黙っていれば入ってくる」と運動の効果を

認めている。私たちが県にしばしば足を運んだ際にも、県の担当者はへりくだりながらしかし誇らし気に運動の成果を口にしていた。

このことと関連して、今回の分散入港の事態によって関連自治体に新しい事態がうまれつつあることもまた極めて重要な事柄である。戦艦ニュージャージーは佐世保に、駆逐艦メリルは呉に、原子力巡洋艦ロングビーチは横須賀にという今回の分散入港は、それぞれの自治体に各様の状況の進展ないし煮詰まりをもたらしている。これは私たちの運動がはしこを一段のぼったところで次の一手を練りだしうることを示している。

横須賀市長は外務省への要請文に「核兵器の持込みが絶対にないことを明瞭な形で明らかにさせること」と書いた。何と、これはほとんど私たちの核チェックである。たかが申入れの文言ぐらいいと、と思われる。者のために申し添えておくと、対日本政府の公式文書となるとこれまでの型通りの要請文の一語を変え、お役所では 大変な激論をする。文章作成者のやる気とその原案にあらゆる方向から集まるさまざまな圧力の力関係によって結果が決まる。

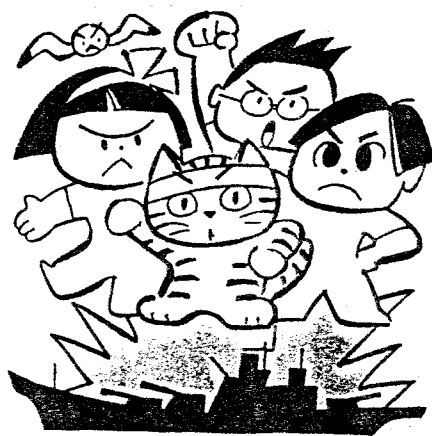
神奈川県では、三年前のニュージャージー寄港反対の申入れの線を下らない行動をするという決意を確認することができたし、非核

コード作りについて内部で話題になっていることを私たちはつかんだ。

呉市、広島県では、メリル入港が自治体へのこの上ない教育効果をもたらした。呉や広島島の仲間の申入れにもかかわらず、これまでメリルの何たるかも調査しようとしていなかった市や県が事実を突付けられたのである。荒木広島市長は、はじめて外務省に、「非核三原則の厳守」を口頭で申入れた。

（かけはし）佐世保市長は「国策に協力する立場」で受入れを表明した。しかし、わざわざ佐世保の世論の中で九月一日に要請書を出した。新聞によると「非核三原則の順守と、核の所在を明らかにしない」米政府の政策に矛盾をおぼえ事前協議の形がいか化を指摘する国民が多い。これらの国民に対して理解を求めるのに米政府を信頼するというだけでは説得力に欠けるので何らかの方法で国民を納得させてもらいたい（九月三日）毎日（これは興奮するような大変な内容である）。

●市民がデモや街頭に出てこないという事実がありながら、世論はこの件に関しては圧倒的に政府を信用せず入港に反対であるということも、私たちは再度知り得た。長崎テレビが八月三十一日に報道したアンケートによると（「佐世保軍研ニュース」による）



核疑惑に悩えよ 佐世保市長 外務省へ不満

戦艦ニュージャージー寄港に際して、外務省に要請文を送った。横須賀市長は「核兵器の持込みが絶対にないことを明瞭な形で明らかにさせること」と書いた。何と、これはほとんど私たちの核チェックである。たかが申入れの文言ぐらいいと、と思われる。者のために申し添えておくと、対日本政府の公式文書となるとこれまでの型通りの要請文の一語を変え、お役所では 大変な激論をする。文章作成者のやる気とその原案にあらゆる方向から集まるさまざまな圧力の力関係によって結果が決まる。



横須賀市長は「核兵器の持込みが絶対にないことを明瞭な形で明らかにさせること」と書いた。何と、これはほとんど私たちの核チェックである。たかが申入れの文言ぐらいいと、と思われる。者のために申し添えておくと、対日本政府の公式文書となるとこれまでの型通りの要請文の一語を変え、お役所では 大変な激論をする。文章作成者のやる気とその原案にあらゆる方向から集まるさまざまな圧力の力関係によって結果が決まる。

昭和61年8月23日

外務大臣 倉成正 殿

横須賀市長 横山 和夫

米原子力巡洋艦「ロングビーチ」の寄港について

（要請）

本日、原子力巡洋艦「ロングビーチ」（CGN-9）が寄港する旨の通知に接しました。

同艦は、核・非核両用の巡航ミサイル「トマホーク」の搭載能力が付与されたとされており、また、すでに発射実験も行われたと報道されております。

このことについて、「外務省は、日本政府が非核三原則を堅持する立場をとっていることを米側に伝え、核持ち込みについての事前協議制度の確認を行った。」と報道されているものの、市民の間には、核持ち込みについて、なお不安と動揺があり憂慮にたえないところであります。

本議は、日米安全保障条約を肯定し、これを尊重するものがありますが、その故に「国是」である「非核三原則」の厳正な遵守を求め、かつ、日本が、米・ソを問わずあらゆる国の核兵器についても、その廃絶を求める立場にあるものと信じております。こうした立場から、核兵器の持ち込みについては、これを絶対に認めることはできないものであり、政府に対して従来も強く「非核三原則」の厳正な遵守を求めてきたところであります。

政府におかれましては、平和を願う市民の不安の解消と生命の安全を守るため、原子力巡洋艦「ロングビーチ」の横須賀寄港にあたり、下記の点について万全な対応措置を講ぜられるよう、重ねて要請いたします。

記

- 1 国是である「非核三原則」を厳正に遵守し、核兵器の持ち込みが絶対にないことを、明瞭な形で明らかにさせること。
- 2 寄港に伴い、市民の生命と財産を守り、安全を確保するため、不測の事態が生ずることのないよう、十分配慮されること。

核ミサイルを積んでいると思うか

積んでいる	38・3%
多分積んでいる	44・3%
多分積んでいない	7・8%
積んでいない	6・3%
なんとも	3・3%

今回の香港は非核三原則に反しないか

反する

67・8%

反しない

24・3%

日本政府の行った態度をどう思うか

拒否すべきだった

61・3%

事前協議がなかった

ので香港は正当

33・3%

●これらの市民感情に比例して、各地のマスコミもまた入港反対の立場、心情で記事を書いたということもまた記憶にとどめる必要がある。これは、佐世保市長を確実に包囲したに違いない。

●また、当該以外の全国の非核自治体が、今回、何一つ積極的な行動に出なかったことは、以上の世論を考えると私たちに多くの問題の余地を残した。広島、愛知、神奈川、県下の非核自治体への働きかけを開始していることの意味が、あらためて浮び上っている。

このように事態を振り返ってみると、新聞記者があまりよく考えずに(？)使っている「核慣れ」がまた一つすすんだ、というところ

日誌

「同時入港」をめぐるつぎ

八六年六月〜九月

六月二日 「東京」 「ニュージャージー」を裁く「証言集会でネルソン・フォスター氏がニュージャージー、メリルの核トマホーク搭載を証言。」

かたは底に流れるものを汲みとっていないように思われる。むしろ、私は核トマホーク艦入港の事態は「核のリアリティ」を日本社会の中にもう一度(決して過去の繰返しではない形で)生出しつつある、ととらえるべきであると思う。少なくとも私たちの能動性を引出す根拠として充分なほどに光が見えて来ているのではないだろうか。

最後に、人間が人間であるがゆえに管理からはみ出る人間たちの出合いが、自治体レベルでの権力構造の中ではまだおこりうることも、私たちは体験している。樂觀はいましめながらも三〇四議席の中會根体制へのレジスタンスのあり方として、そして大衆的な政治回路のつくり方として、多くの人々と充分に論じあいたい。

六月三日 「横須賀」 「ニュージャージー」を止める！長谷川きよしコンサート集会」でフォスター氏証言。

六月二九日 「海の軍備撤廃のための週末」国際行動。世界各国で。日本では横須賀、呉で集会とデモ。

七月二九日 「佐世保」 「全国運動」市長と県知事に申入れ。①核の有無の米への直接確認②非核の確認なき場合の入港拒否

七月二十日 「佐世保」 N.J.寄港阻止九州ブロック集会(主催 現職本部・地区労・総評)

七月二二日 日本キリスト教団神奈川教区知事に寄港反対の申入れ。

七月二七日 「京都」 「核戦艦N.J.を止める！七・二七集会」(主催 京都トマ連)

八月九日 「横須賀」ウィークエンド・ピースキャンプ始まる。以後毎週末。(主催 非核市民宣言運動ヨコスカ)

八月一〜二五日 「京都」 N.J.寄港反対のハンスト。期間中集会、署名の米大使館への提出など。(京都トマ連)

八月中旬 「愛知」 非核自治体を巡る要請行動。津島市と佐屋町からは「N.J.寄港は遺憾」の回答。(あいち反戦の会) 「呉」 県内非核自治体アンケート(呉市民の会)

八月一六日 倉成外相とマンズフィールド米大使の会談でN.J.佐世保入港の正式通告。

非核三原則順守の申入れに米は従来の立場を繰返す。

八月二十日 「横浜」 県内反核運動体の十名N.J.入港反対表明と非核コード作成を申入れ。

八月二二日 「横須賀」 非核市民宣言運動ヨコスカ「ロングビーチ」入港拒否を市長に申し入れ。「佐世保」市長、チラシ「市民の皆様へお願い」を配布。「核兵器の持込みない」と確信。「寄港受入れは義務」

八月三日 「横須賀」 市長ロングビーチに「核兵器の持込み」を要請。「核兵器の持込みが絶対にないことを、明瞭な形で明らかにさせること」 県知事も要請文。

八月三二日〜九月二日 各地で同時入港抗議行動。(二〜四面に詳報)

八月二五日〜二九日 「広島」 県下諸グループ連名で呉・広島両市長、県知事に申入れ

八月二六日 「佐世保」 ジョー・ハイター、古田満智子、梅林宏道の三名市長に申入れ

八月二七日 「広島」 市長が外務省に「非核三原則の厳守」を口頭で申しれ。

九月一日 「佐世保」 ミサイル巡洋艦「ジョエット」など空母機動部隊随伴艦入港。市長、外務省に要請書(内容は別記事)

九月二日 「佐世保」 「横須賀」 N.J.など三隻出港。

反ニュージャージー行動 海を越える波紋

海外での報道と 連帯のメッセージ

私はニュージャージーに反対する抗議行動に参加したすべての人々に万歳を言いたい。その報道は、この数年間の日本のデモの中で最も良く報道されたものだ。ニュージャージーの非核政策に対するアメリカの圧力が強まっているとき、この記事は、私たちに對する大変な励ましである。(現地の新聞記事より)

オーウェン・ウィルクス 「アオデアロア平和運動」 ニュージールランド

North Atlantic Fourth Annual 853 Broad New York, N.Y. (212) 5

Message from the conference participants The North Atlantic Network, meeting New York City, sends congratulations to its resistance to the port call.

北大西洋ネットワーク (NAN) 第四回年次総会

参加者から

ニューヨークで第四回年次総会を開会中の北大西洋ネットワークは戦艦ニュージャージーとそれが象徴する危険な海軍の軍拡に對し抵抗する日本の平和運動に大して万歳を送ります。みなさんの闘いは私たちの闘いであり、皆さんの勝利は同時に私たちの勝利です。私たちは、今後ともみなさんや非核独立太平洋運動のみなさんとの協力を継続し、さらに強化することを約束します。

トマホーク艦同時入港とそれに対する抗議の行動は海を越えたさまざまな連環の中にあり、あるいは新しい繋がりを作りだした。核艦船の動きや、核搭載に関する情報は一海軍備撤廃を！太平洋運動からほぼリアルタイムでもたらされた。佐世保ではジョー・ハイターさん(オーストラリア PND)との共同行動が成果をあげた。抗議船に乗ったジョーさんによるアピールを含めた海上での抗議

議行動がニュージャージーの乗組員たちに強い印象を与えたことを米海軍の新聞「スターズ・アンド・ストライプス」は伝えている。佐世保での出来事は「ワシントンポスト」や「ニューヨークタイムズ」、欧米の放送でも報道されたという。さらに私たちにとって幸いであったことは世界各国の反核運動の友人たちからの激励と連帯のメッセージが届けられた事である。

J・ウィンザー 「核兵器にノー」 デンマーク

（八月二十五日、現地のラジオは佐世保でのニュージャージー抗議デモを報じた）
人々は偉大なことが怒ったという印象をもった。私も本当に素晴らしいと思った。そのニュースは世界中を駆け巡っている。それは、私たちみんなに大変に役立つだろう。そして、それはあなたがたの行動にたいするお祝いだ。おめでとう。



核兵器禁止を主張して 日本人がアメリカ の船に抗議

(THE NEW YORK TIMES 8/25)

（東京発）アメリカの軍艦の寄港が日本の各地でデモ隊を生出した。その中で、参加者たちは、日本の政策をふみこいて核兵器をもちこんでいるとアメリカを非難した。アメリカの高官はその政策にしがたがって、核の搭載の有無について言及することを拒否した。

特別に大きな抗議行動が日本の南部の佐世保市で行われたがそこには九日間の滞在予定でアメリカの戦艦ニュージャージーが寄港した。四五〇〇トンのこの船が佐世保湾に入港した時、四七隻の漁船や小船が抗議団を乗

ニュージャージー 日本で支持と抗議を 受ける

(Pacific Stars and Stripes 8/26)



13

New Jersey Support Japan

せて接近した。しかし、これらの船は同じ数の海上保安庁の警備船によって阻止された。抗議船はほとんど、日本社会党関係者やより極左グループであり、彼等は船のエンジンの音やぶつかる波の音でほとんど聞取れない反米スローガンを叫ぶことで満足せねばならなかった。

佐世保は長崎県の北部に位置するが、その佐世保の別の場所では八〇〇人以上のデモ参加者が行進をし、アメリカと二六十年になる日米安保条約を非難する集会を開いた。過激派といわれる五人が警官との乱闘のち逮捕された。

数十名の人々よりなるもっと小さなデモが、日本の他の場所で行われた。広島に近い呉と東京の南西にある横須賀に他のアメリカの軍艦が寄港したからである。これらの軍艦のうち二隻は巡洋艦ロングビーチと駆逐艦メルーはニュージャージーと同じように通常型ないし核巡航ミサイル・トマホークの発射台を持っている。（以下略）

佐世保へのニュージャージーの入港に対する賛成派・反対派両方の船が、日曜日（八月二十四日）海にくり出し、戦艦と一緒に最後の10マイルをパレードした。

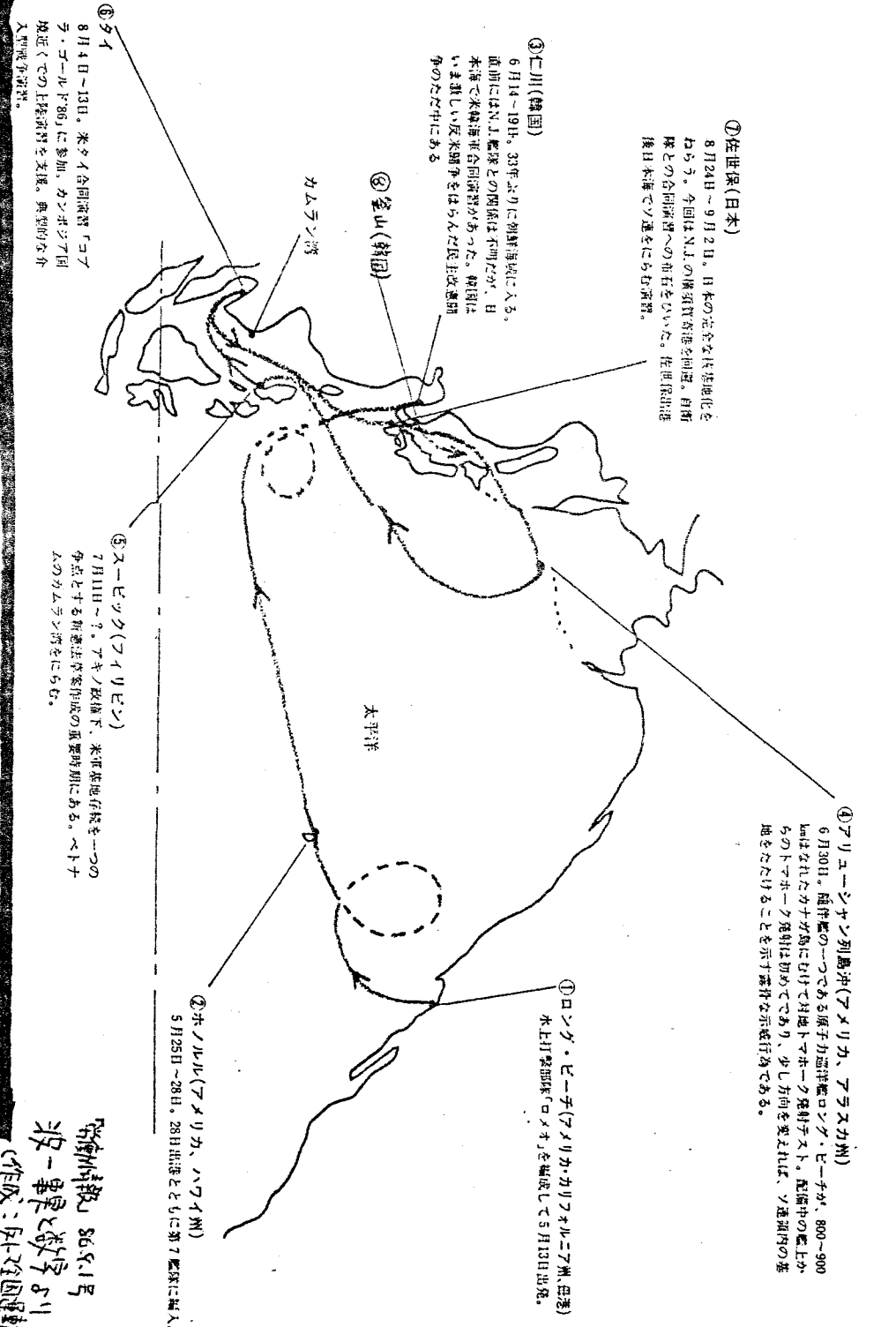
百隻以上の船と9機のヘリコプターと1機の飛行機が入港する戦艦を取巻いた。日本の警察の船と警備艇が賛成派・反対派両方の船をアメリカ艦船から遮断するため、非常に線を作った。

保守派の船はニュージャージーの右側を日米の国旗をかがけて航行し、拡声機で愛国的な歌を流し、「ウェルカム・ニュージャージー」佐世保へようこそ、共に共産主義と戦おう」といった演説を流した。反核グループは戦艦の左側を航行し、正反対のことををなすりてた。「あなたがたを歓迎しない。あなたがたは日本人の意志を踏みにじった。あなたがたを歓迎しない」「私は海軍に7年間はいました。しかし、このようなものを見たのは初めてです」と2等下士官クリストファー・バートン（10カ月前から乗組み）は言った。

「他の港に入港した時には数隻の船がニュージャージーに近付いただけだ。もうひとりの乗組員ジェローム・ウィナーは一日曜日の船団は配備中に他の港で戦艦に近付いてきたボートの数の2倍はある」と司令官、R・A・K・ティラー提督は16インチ砲の前での記者会見で、つぎの様に語った。「湾に入ってから航海の間、ずっとわくわくする歓迎であった。すばらしかった。尋常ではなかった。私にニュージャージーを思い出させた」

（佐世保軍研ニュースより）

戦艦ニュージャージーの航跡



①アリゾナ列島沖(アメリカ、アラバカ州)
6月30日、随伴艦の一つである原子力巡洋艦ロング・ビーチが、800-900トンはなれたカナガ島にむけて対地トマホーク発射テスト。配備中の艦上からのトマホーク発射は初めてであり、少し方向をズレれば、ソ連領内の基地をたたくことを示す露骨な示威行為である。

⑦佐世保(日本)
8月24日～9月2日、日本の完全な民権地化をわらう。今回はN.J.の横須賀寄港を前に、自衛隊との合同演習への市をのびた。佐世保出港後日本海でソ連をならむ演習。

③仁川(韓国)
6月14～19日、33年ぶりに朝鮮半島に入る。直前にはN.J.艦隊との関係は不明だが、日本海で米韓海軍合同演習があった。韓国はいま新しい反米闘争をはらんだ民主化運動争のただ中にある。

③釜山(韓国)
カムラン湾

②ホルム(アメリカ、ハワイ州)
5月25日～28日、28日出港とともに第7艦隊に編入。

⑤スービック(フィリピン)
7月11日～17日、フィリピン下、米軍基地存続を一つの争点とする新憲法草案作成の重要時期にある。ベトナムのカムラン湾をならむ。

資料掲載 36号1号
波一筆と数字より
(作成：外務省)

第8回

全国会議のお知らせ

- 日時 9月27日(土) 午後2時 受付
 5 2時半 開会
 28日(日) 午後1時 閉会

●場所 京都府部落解放センター

(京都駅より地下鉄鞍馬口下車2分)

075(415)1026

●参加費 ￥2,000円

これとは別に宿泊する人は宿泊料2000円
 (食券別)

プログラム

●開会 27日午後2時半

議題Ⅰ 第3次キャンペーン以後を
 どうするか

1. 現状報告と提案
2. 日米軍事協力と西太平洋の核軍事体制
3. 「トマ喰い虫」の現状と提案
4. 財政報告と提案

検討委員会

海棠 新

編集委

加納 明

(財政)

[夕食] 5時半～

5. 討論と大枠の決定 6時半～

[交流会] 9時～

議題Ⅱ 戦艦ニュージャージー寄港阻止運動の総括と今後
 の運動方針の具体化 28日午前9時～

1. 報告と問題提起

- ①京都 青木雅彦(京都トマ連) ②東京 井上年弘(反原発市民の会) ③佐世保
 佐々木竹一(佐世保軍問研) ④呉 湯浅一郎(呉市民の会) ⑤横須賀 新倉裕史
 (非核市民宣言運動)

2. 自由討論 10時15分～

3. 具体的方針の整理 11時45分～

●閉会 午後1時

